

2022年4月1日

厚生労働省 政策統括官（総合政策担当）  
大島 一博 殿

（一社）日本セルフケア推進協議会

代表理事（会長）

三輪 芳弘



## 生活者に適切なセルフケアを促すための要望

今般、厚生労働省において、セルフケア・セルフメディケーション推進室が司令塔を担い、セルフケア及びセルフメディケーション等の推進に向けた政策パッケージ及び工程表を取りまとめるべくご検討を進めて頂いておりますことを歓迎し、敬意を表します。

御省の資料でもご案内の通り、セルフメディケーション等を適切に進める前提として、セルフケアの推進（健康に関する関心・正しい理解、予防・健康づくり推進等）などが重要であり、そうした行動を生活者の中に普及していくことと、生活者の過度な自己判断に頼らない適切なセルフケア・セルフメディケーション等を行う環境整備・体制整備が求められます。

つきましては下記の通り、4項目を要望させていただきます。何卒ご高配賜ります様、お願い申し上げます。

- 1. 生活者にセルフケアを前提とした適切なセルフメディケーション等の実施を促すため、まずはセルフケアの適切な推進とあるべき体制等を議論する審議会設置を政策パッケージ(工程表)に含めて頂くこと**
- 2. セルフケア及びセルフメディケーション等推進の議論に一般社団法人日本セルフケア推進協議会も参加させて頂くこと**
- 3. 医療・介護は公的保険が適応されることに対し、予防・健康づくりの費用負担軽減やインセンティブを税制や予算措置で対応する新たな大原則を確立頂くこと**  
例えば、全く機能していないセルフメディケーション税制は大胆に見直し、マスクや消毒液、PCR 検査等を含む自身の健康状態を把握する検査、ワクチン接種等を加え、特定の OTC 医薬品に留まらない対象に範囲を広げて頂くこと
- 4. 生活者がセルフケア及びセルフメディケーション等を正しく理解するための情報発信の場を一層の強化をして頂くこと**

以上